

会議録	
会議名	令和元年度 第1回善通寺市総合計画審議会
開催日時	令和2年1月31日(金) 10:30~11:30
開催場所	善通寺市役所 3階 大会議室
出席者	(出席委員) 村上会長、末吉副会長、安藤委員、水口委員、高島委員、川村委員、 山根委員、丸岡委員、大塚委員、川西委員、田中委員、西山委員、森川委員、 塩田委員 (欠席委員) 齊藤委員
議題	第5次善通寺市総合計画の進行管理について
事務局	総務部長、政策課長、香川課長補佐、榊課長補佐、林係長 防災管理課長、環境課長、保健課長、子ども課長、高齢者課長、農林課長、 商工観光課長、教育総務課長、生涯学習課長
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
総務部長	新委員の紹介 高島委員、川村委員、大塚委員、齊藤委員 挨拶
村上会長	挨拶
政策課長	欠席者の報告、審議会成立の宣言
林係長	第5次善通寺市総合計画の進行管理について説明
A委員	進行管理表の「3-2 生涯学習社会の確立」について、「生涯学習関連の講座・教室の参加者数」が芳しくないとの結果が出ている。 四国学院大学では演劇について独創的な取り組みがなされている。こういった取り組みと連携したりするなど、もう一步踏み込んだ事業を進めてはどうか。 また、このような結果を踏まえて、来年度の予算編成はどのようになっているか。
生涯学習課長	「生涯学習関連の講座・教室の参加者数」については、イキイキときめき大学と寿大学の参加者数をカウントしているが、これらの参加者が減少していることで、実績値が減少している。来年度予算については、まだ確定していないのではっきりとしたことは申し上げられないが、今後、幅広い世代を対象とする講座の開設などを検討したい。

発言者	議事の概要及び発言の要旨
B委員	<p>「安心・安全のまちづくり」について、近年、空き家対策が注目を集めていると思うが、この案件については、どの指標が該当するのか。また、該当する指標の有無に関わらず、今後の重点課題として、しっかりと対応してほしい。</p>
政策課長	<p>空き家対策については、防災・防犯、移住施策、都市計画など様々な分野が該当する。現時点で直接的な指標はないが、委員ご指摘のとおり、今後重要な課題であることは間違いないので、そのような認識で臨んでいく。</p>
C委員	<p>善通寺市の農家数について、近年減少しているが、どのような状況か。 また、酪農家は市内に3者しかいない。 今後の農業振興について、どのようにお考えか。</p>
農林課長	<p>平成27年度の資料が最新であるが、農家数は1,371であり、最近では1,200台まで減少していると想定している。 市としては、認定農業者制度、新規就農者への支援等、様々な手立てを講じているところであるが、零細農家への支援をどうするのかも含め、今後の支援策のあり方を検討している。</p>
D委員	<p>「2-3 高齢者福祉の充実」について、「健康維持への取組みをしている高齢者割合」が68%から65.4%に下がっているが、高齢者の健康維持への活動が減減していることは、要介護認定率の増加と関係していると思われる。 その一方で、「3-3 生涯スポーツの振興」において「週1回スポーツ活動をしている人の割合」は増加している。 この辺りの関連性について何か分析はされているか。</p>
高齢者課長	<p>アンケート結果の数値ベースでは「健康維持への取組みをしている高齢者割合」が減少しているが、市の事業として高齢者の健康維持への取組みに関するメニューを増やしており、実際に高齢者と話をする中の肌感覚としては、健康維持への取組みをしている高齢者数はむしろ増えていると感じている。 また、要介護認定率についても、確かに微増しているが、県内自治体中2番目か3番目に低い数値であり、介護保険料も低く設定されていることから、これは高齢者の方の努力の成果であると考えている。</p>
D委員	<p>せっかくアンケート結果が数値で出ているので、高齢者とか生涯スポーツとかの個別の分野内だけでなく、横断的・総合的に分析することを検討されたい。</p>

発言者	議事の概要及び発言の要旨
E委員	<p>学校教育について、データを見ると、長期欠席者の率が継続して1%程度であるが、これは、ある程度の長期欠席者がいるのは避けられない、と認識すべき値なのか。また、外国籍の子どもについてはどうか。</p>
教育総務課長	<p>ご指摘のとおり、長期欠席者の率については、学校側も相当努力しているが、微増しているのが現状である。 今後とも、継続して対応していく。 外国籍の子どもについては、修学の義務はないため、申し出があるケースについて個別対応している。一方、申し出がない方については、把握も含めて十分な対応ができていないのが現状である。</p>
E委員	<p>義務教育の範疇ではないことは把握しているが、義務がないから放っておくというのはいかがなものか。これは普通寺市だけではなく、全国的な問題であると思うが、何ができるか、どうすべきかをしっかりと検討してほしい。</p>
F委員	<p>総合計画の計画期間は10年間となっているが、10年の間に社会情勢は大きく変化し、新たな地域の課題も発生していると思う。市の行政計画の中で、新たな問題にどう対応するのかということ、よく考えてほしい。 また、成果指標についても少し疑問がある。目標に対してその進行管理をしていくうえで成果指標は必要だと思うが、果たして現在設定している成果指標が進行管理の指標として適切なのか、次の総合計画を策定する際にしっかりと検討しなくてはいいだろう。</p>
G委員	<p>地域コミュニティについて、自治会や各種地域活動団体において担い手が高齢化・減少していると痛感している。 趣味や自分の興味のあることで繋がるコミュニティは活動が活性化しているが、地縁的な、また、地区全域をカバーする福祉的な活動団体においては、高齢者が主な担い手となっており、今後衰退の一途をたどるのではないかと危惧している。 市は、コミュニティ施策について、どうお考えか。</p>
政策課長	<p>ご指摘のとおり、地域のコミュニティ活動の主な担い手は高齢者であり、各団体から担い手の高齢化・減少について相談を受ける機会も多い。 地域コミュニティについては、行政が組織運営するものではないため、直接的に介入することは難しいが、行政サービスの補完的な位置づけで活動していただいている団体も多く、これからの時代の地域コミュニティについて、活動されている方の生の声を聴きながら、行政としてどのような支援ができるのか検討しているところである。 また、地域教育・社会教育という視点から、普通寺市では「フェデレーション教育」という新たな取り組みを実施する予定であり、学校単体での教育ではなく、縦と横、地域との連携による教育体制の構築を進めることにより、自然と地域コミュニティ活動への理解が深まり、参加が促進されるのではないかと期待している。</p>
H委員	<p>総合計画とそれ以外の計画の関係性について改めて確認したいのだが、地域福祉計画や都市計画マスタープランとはどのような関係にあるのか。</p>

発言者	議事の概要及び発言の要旨
政策課長	<p>総合計画は市の最上位計画として、今後のまちづくりにおける基本理念や目指すべき姿、取り組むべき施策の大きな方向性を示すものである。</p>
村上会長	<p>個人的な見解であるが、現行の総合計画はあまりにも細かすぎるのではないかと思う。最上位の計画ということであれば、総論的な大きな方向性を示すことに止め、各論的なところについては、それぞれの個別計画に任せる、という考え方もあるのではないか。</p>
政策課長	<p>令和2年度をもって、第5次総合計画の計画期間が終了する。平成23年の法改正により総合計画は法定のものではなくなっており、地方創生の時代、それぞれの地方自治体がそれぞれの実情に合った総合計画を策定している。</p> <p>本市においても、第5次総合計画と同様な構成で第6次総合計画を策定するのか、全く別のアプローチにて新計画を策定するのか検討しているところなので、来年度の本会にてその辺りの内容も含めてお諮りし、ご審議いただきたい。</p>
村上会長	<p>他にご質問が無いようですので、議題についての審議を終了します。その他として、何かご意見やご質問はありますか。</p> <p>特に無いようですので、これにて本日の会議を終了します。</p>